ヨド物置 エスモ
組立説明書

ESF- 1005G、1005D、1005A、1006G、1006D、1006A、1007G、1007D、1007A、1205G、1205D、1205A、1206G、1206D、1206A、1207G、1207D、1207A

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」を必ずお読みください。
なお、この説明書は、1205A型を基準に書いてありますが、組み立て方法は、全タイプとも同じです。

設置場所の制限

⚠注意

- ●建物の屋上には設置しないでください。
- ●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- ●大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
- ●屋のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
- ●給湯器の前には設置しないでください。

組立施工の際には

⚠注意

- ●アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。

お願い

- ●組立の際には手袋を着用してください。
- ●風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。
- ●高い足場が必要な場合は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- ●組立後各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。

※市販のコンクリートブロック（幅19cm×長さ19cm×高さ10cm）を、4個ご用意ください。

〈施工にあたって〉

安全のため必ず軍手等の手袋を着用してください。

1.まず、ご注文通りの商品かどうかを下の梱包組合せ表・梱包内容表にてご確認ください。
2.基礎ブロックは市販のコンクリートブロックをご使用ください。
3.部品の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組み立ててください。
4.部材は、すべて、鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
5.組み立ての際、指を挟んだりしないようにご注意ください。

〈安全なご使用のために〉

※取扱説明書を必ずお読みください。

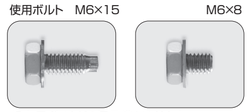
1.庫内に入るときは、扉を開放状態にし、絶対に閉めないでください。また、庫内からの仮ロック解除方法（この説明書の「錠の操作方法」参照）を必ず確認してください。
2.鍵により施錠する際は、庫内に人がいないことを必ず確認してください。また、使用しないときは、必ず鍵による施錠をしてください。
3.小さなお子様には、使用させないでください。
4.組立後も棚位置の移動等を行う場合は、安全のため軍手等の手袋を着用してください。
5.使用される方に、上記内容を周知してください。

組立動画配信中! ☞ https://www.yodomonooki.jp/

※動画は3枚扉のものになります。

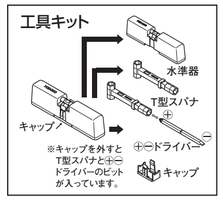
鍵は、扉梱包の小箱（30×50×80mm）の中にあります。また、左右の錠は共通の鍵で施解錠できます。

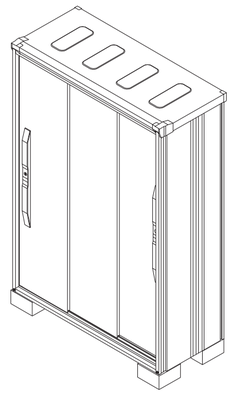
使用ボルト　M6×15　　M6×8

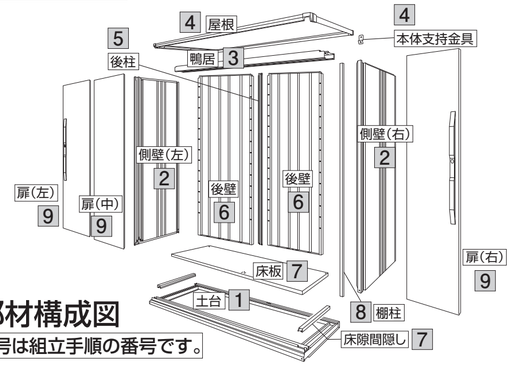


組立用ボルトは3個予備があります。
（色:シルバー1個、色:ゴールド2個）

工具キット







物置部材構成図

上記の番号は組立手順の番号です。

梱包組合せ表

梱包＼機種	1005G	1005D	1005A	1006G	1006D	1006A	1007G	1007D	1007A	1205G	1205D	1205A	1206G	1206D	1206A	1207G	1207D	1207A
側壁梱包	ES6-0421	ES6-0431	ES6-0451	ES6-0423	ES6-0433	ES6-0453	ES6-0425	ES6-0436	ES6-0456	ES6-0421	ES6-0431	ES6-0451	ES6-0423	ES6-0433	ES6-0453	ES6-0425	ES6-0436	ES6-0456
屋根床梱包	ES6-0902	ES6-0903	ES6-0903	ES6-0905	ES6-0906	ES6-0906	ES6-0908	ES6-0909	ES6-0909	ES6-0911	ES6-0912	ES6-0912	ES6-0914	ES6-0915	ES6-0915	ES6-0917	ES6-0918	ES6-0918
後壁梱包	ES6-1021	ES6-1031	ES6-1051	ES6-1021	ES6-1031	ES6-1051	ES6-1021	ES6-1031	ES6-1051	ES6-1022	ES6-1032	ES6-1052	ES6-1022	ES6-1032	ES6-1052	ES6-1022	ES6-1032	ES6-1052
扉梱包	ES6-1721	ES6-1731	ES6-1751	ES6-1721	ES6-1731	ES6-1751	ES6-1721	ES6-1731	ES6-1751	ES6-1722	ES6-1732	ES6-1752	ES6-1722	ES6-1732	ES6-1752	ES6-1722	ES6-1732	ES6-1752
棚板梱包	ES6-1902	ES6-1902	ES6-1902	ES6-1904	ES6-1904	ES6-1904	ES6-1906	ES6-1906	ES6-1906	ES6-1908	ES6-1908	ES6-1908	ES6-1910	ES6-1910	ES6-1910	ES6-1912	ES6-1912	ES6-1912

梱包内容表

ご確認のうえ、説明書に従って組み立ててください。

屋根床梱包		
梱包番号	ES6-0902, ES6-0903 ES6-0911, ES6-0912	ES6-0905, ES6-0906 ES6-0908, ES6-0909 ES6-0914, ES6-0915 ES6-0917, ES6-0918
部材名	数量	
屋根バネル	1	1
鴨居	1	1
土台	1	1
床板	1	1
床隙間隠し	2	2
鴨居取付金具左（右）	各1	各1
棚受	3	4
棚受金具	6	8
棚受金具（大）	3	4
工具キット	1セット	1セット
本体支持金具 セムスボルト（色：シルバー）	各2	各2
セムスボルト（色：シルバー）M6×15	7	7
セムスボルト（色：ゴールド）M6×15	29	29
アンカープレートA左（右）	各1	各1
アンカープレートB左（右）	各2	各2
アンカープレートC左（右）	各1	各1
セムスボルト（色：シルバー）M6×8	8	8
アジャスターボルトキャップ	4	4
アジャスターボルトキャップ（前）	2	2
組立説明書	1	1
取扱説明書	1	1
保証書	1	1
組立チェックシート	1	1

側壁梱包	
梱包番号	ES6-0421, ES6-0423 ES6-0425, ES6-0431 ES6-0433, ES6-0436 ES6-0451, ES6-0453 ES6-0456
部材名	数量
側壁・右	1
側壁・左	1
後柱	1
棚柱	1

後壁梱包	
梱包番号	ES6-1021, ES6-1022 ES6-1031, ES6-1032 ES6-1051, ES6-1052
部材名	数量
後壁・右	1
後壁・左	1

扉梱包	
梱包番号	ES6-1721, ES6-1722 ES6-1731, ES6-1732 ES6-1751, ES6-1752
部材名	数量
扉右	1
扉左	1
扉中	1
鍵	2本

棚板梱包	
梱包番号	ES6-1902, ES6-1908 ES6-1904, ES6-1906 ES6-1910, ES6-1912
部材名	数量
棚板L	3 4

●アンカー工事について

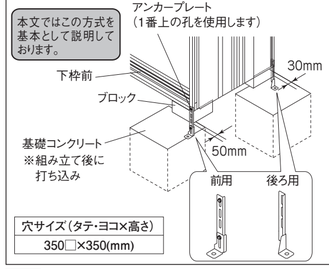
アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情（基準風速・凍上による不陸など）にあわせて設計・施工してください。

《土の上に設置する場合》

4隅に穴を掘り(下図参照)、施工後にコンクリートを流し込んでアンカープレートを固定します。

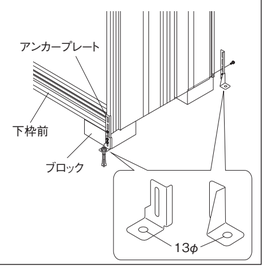
本文ではこの方式を基本として説明しております。



穴サイズ（タテ・ヨコ×高さ）
350□×350(mm)

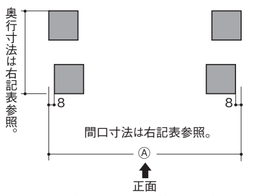
《コンクリート床の上に設置する場合》

オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー（M12-70以上）で固定してください。



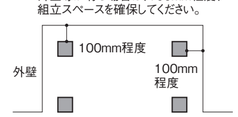
前工程 ブロックの設置

ブロックを図の寸法に並べます。
（必ず水平を出してください。）



※ブロック配置寸法は右記表を参照してください。

外壁等が有る場合は、100mm程度、組立スペースを確保してください。



配置寸法表

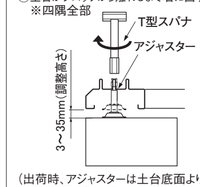
機種名	間口寸法Ⓐ	奥行寸法	機種名	間口寸法Ⓐ	奥行寸法
1005G	1050	513	1205G	1200	513
1005D	1050	513	1205D	1200	513
1005A	1050	513	1205A	1200	513
1006G	1050	650	1206G	1200	650
1006D	1050	650	1206D	1200	650
1006A	1050	650	1206A	1200	650
1007G	1050	750	1207G	1200	750
1007D	1050	750	1207D	1200	750
1007A	1050	750	1207A	1200	750

※単位:mm

1 土台の設置

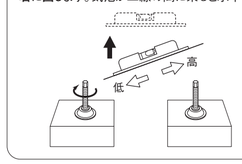
①**ブロック**の上に土台を置いて、四隅のアジャスターを**T型スパナ**で、土台が**ブロック**から離れるまで右に回します。固くて回らないときは、**T型スパナ**の孔に⊕⊖**ドライバー**を差すと回しやすくなります。
②**水準器**を土台に置いて、低い所のアジャスターを**T型スパナ**で右に回し、水平を出してください。
※土台の調整可能高さは 3～35mm です（32mm 調整可）。

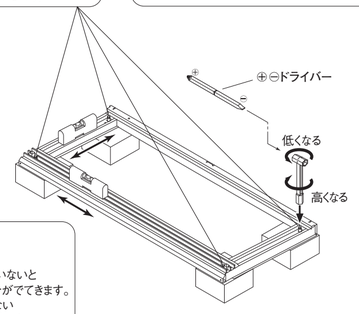
①土台がブロックから離れるまで右に回す。
※四隅全部



（出荷時、アジャスターは土台底面より約3mm飛び出しています。）

②四隅のアジャスターで水平を出す。
＜水準器の使い方＞
気泡がある方向（高）と逆側（低）のアジャスターを右に回します。気泡が二線の間に来ると水平です。





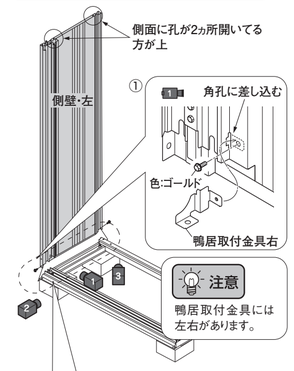
注意
土台の水平が出ていないと以下のような不具合がでてきます。
・壁パネルが入らない
・扉がスムーズに動かない
・鍵がかからない

注意
前方転倒防止金具を使用するときは、前方転倒防止金具セット（オプション）の組立説明書を先にお読みください。

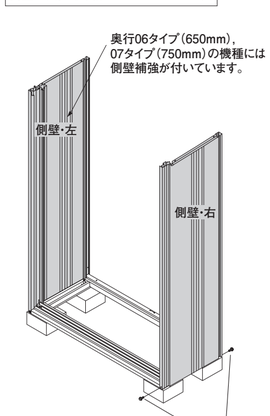
2 側壁の取り付け

①鴨居取付金具右を側壁・左の角孔に差し込み、ボルト（色:ゴールド）で取り付けます。1
　側壁の転倒軽減としての補助金具で、3 の工程で取り外します。鴨居取付金具には左右があります。
②ⓐ.側壁・左の下面前側の金具を土台に差し込みます。2
　ⓑ.側壁・左の後側のツメを土台のスリットに差し込みます。3
③前側、後側を**ボルト**（色:シルバー）で固定します。先に後側を固定すると安定します。
④側壁・右も、同様にして取り付けます。

注意 強風により倒れることがありますので注意してください。



側壁の垂直を確認してボルト止めします。

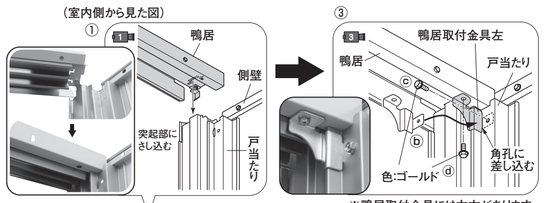


拡大図は全体図のカメラ の視点から見た図になっています。

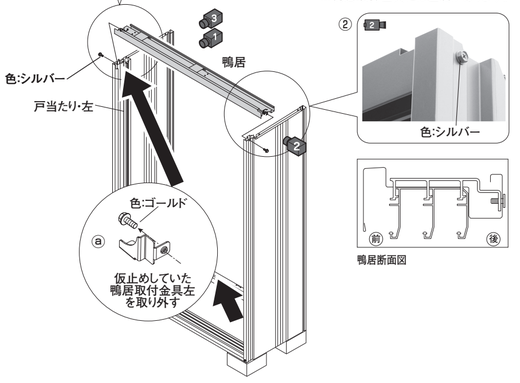
3 鴨居の取り付け

①**鴨居**の⊓型の孔を側壁の戸当たり上側にある突起部に差し込みます。1
②側面からボルト（色:シルバー）止めします。2
③ⓐ.側壁・右の下に取り付けた鴨居取付金具左を外します。
　ⓑ.側壁・左と鴨居の直角を確認して鴨居取付金具左を戸当たりの角孔に差し込みます。3
　ⓒ.鴨居取付金具左を鴨居側に回し込み、鴨居と鴨居取付金具左をボルト（色:ゴールド）止めします。
　ⓓ.戸当たりと鴨居取付金具左をボルト（色:ゴールド）止めします。
　ⓔ.側壁・左の下に取り付けた鴨居取付金具右を外し、側壁・右の戸当たりと鴨居に取り付けます。

（室内側から見た図）

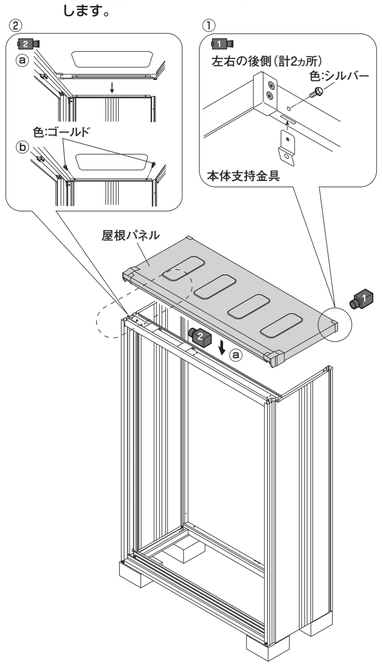


※鴨居取付金具には左右があります。



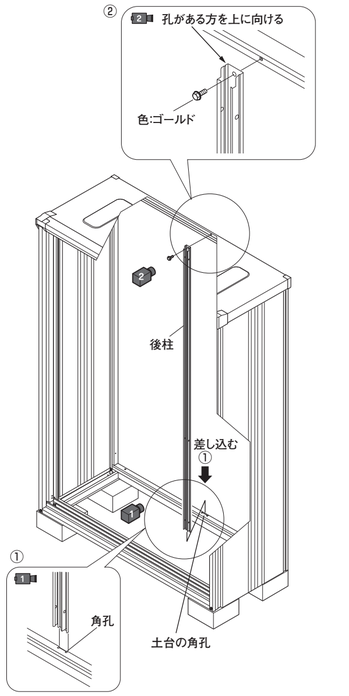
4 屋根パネルの取り付け

①**本体支持金具**のボルト(色：シルバー)を一度外して、**屋根パネル**に本体支持金具を差し込み、**ボルト**止めします。1
②ⓐ. **屋根パネル**を**側壁**と**鴨居**の上にかぶせます。2
ⓑ. **側壁**と**屋根パネル**を**ボルト**（色：ゴールド）で固定します。



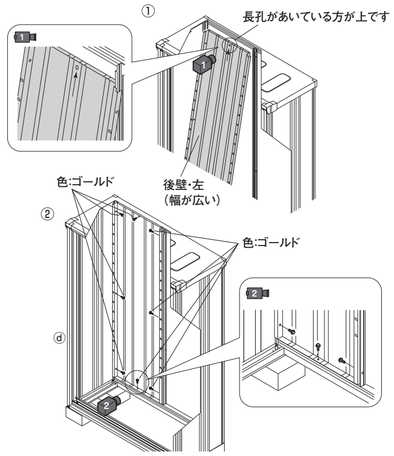
5 後柱の取り付け

①**後柱**を土台の角孔に差し込みます。1
②後柱の上側は、屋根にボルト(色:ゴールド)止めします。2



6 後壁の取り付け

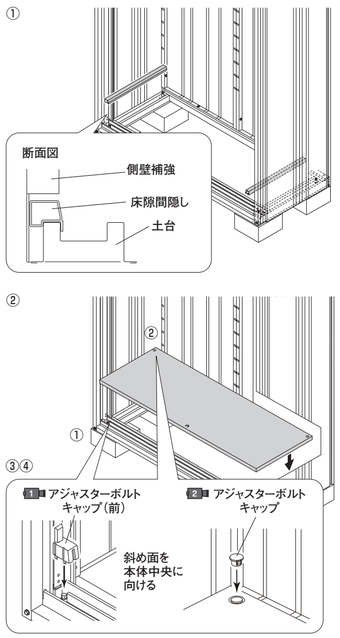
①**後壁**を室内に入れ、**側壁**と**後柱**の間にはめ込みます。
②**後壁**と屋根、**側壁**、**後柱**、**土台**を**ボルト**（色:ゴールド）で仮止めします。（転倒防止のため、上側から仮止めしてください。）
③**後壁**2枚ともはめ込んでから、仮止めしたボルトを締付けます。後壁を奥に押しながら締めてください。



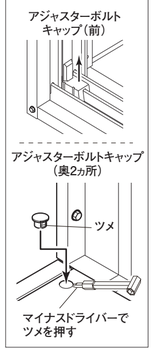
ワンポイント
隣接する後壁の棚受金具用の角孔がずれているときは、後壁の傾きなどを調整しながら、仮止めしたボルトを締めてください。

7 床板の取り付け

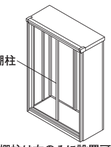
①**床隙間隠し**を**土台**の端に置きます。(向きに注意して左右両側に置きます。)
②**床板**を左右の**床隙間隠し**の間に置きます。(孔がない方を前にして置きます。)
③前隅の2ヵ所に**アジャスターボルトキャップ（前）**を取り付けます。1
④**アジャスターボルトキャップ**を取り付けます。(奥2ヵ所) 2
※水平の再調整をするときは、外してください。



※水平の再調整をするときは、アジャスターボルトキャップを外してください。

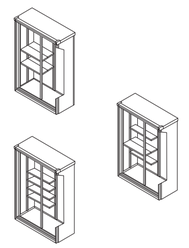


8 棚の取り付け例・棚柱の取り付け



棚の取り付け例

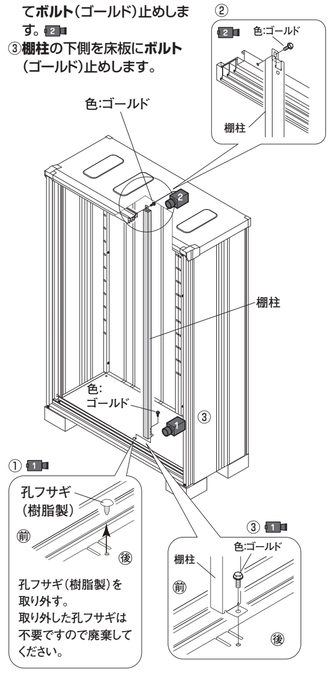
〈奥行06,07タイプの場合〉
棚はL4枚の組合せで前後が分割の設定や2段組などの取り付けができます。収納物や使い勝手を考慮し、棚板の位置を決めてください。



〈奥行05タイプの場合〉
収納物や使い勝手を考慮し、棚板の位置を決めてください。

※棚柱は強度上、必ず取り付けてください。

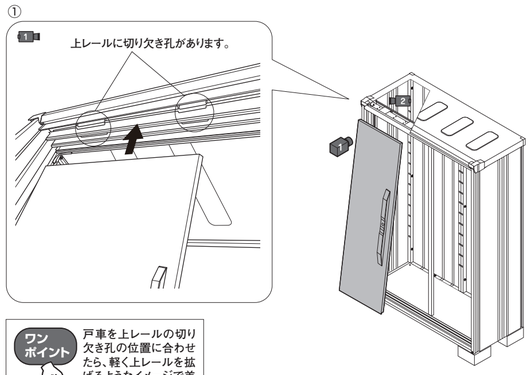
①**床板**についている**孔フサギ**（樹脂製）を取り外します。1
②**棚柱**の上側を**鴨居**に当てがって**ボルト**（ゴールド）止めします。2
③**棚柱**の下側を床板に**ボルト**（ゴールド）止めします。

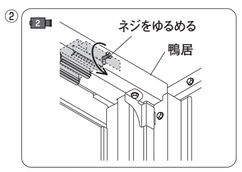


9 扉吊り込み・建て付けの調整

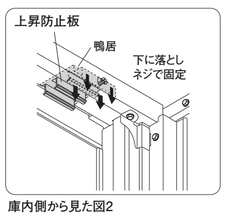
①吊り込み方法
扉の吊り込みは**右・中・左**の順に取り付けます。
戸車を上レール(アルミ)の切り欠き孔2ヵ所に差し込み扉を吊り込んでください。1
※他の位置では取り付けできません。
また、2枚目以降の扉を吊り込むときは必ず、すでに吊り込んでいる扉に重なるように吊り込んでください。

②〈扉外れ防止〉
※必ず行ってください。扉が外れる恐れがあります。
すべての扉を吊り込んだ後、扉を右側によせ室内側の**鴨居**に取り付けている**ネジ**(扉吊り込み位置)をゆるめます(庫内側から見た図1)。2
上昇防止板をネジごと下に落とし、**ネジ**で再度固定します(庫内側から見た図2)。



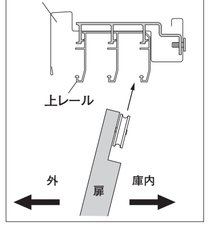


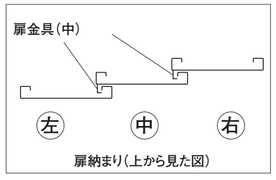
庫内側から見た図1



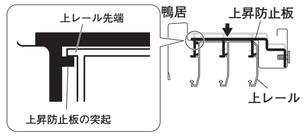
庫内側から見た図2

ワンポイント
戸車を上レールの切り欠き孔の位置に合わせたら、軽く上レールを拡げるようなイメージで差し込む。

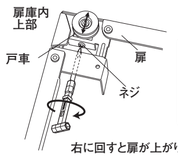




ネジで固定するとき、上昇防止板がレールの高さまで下がっていることと、下記の○印部分、上昇防止板の突起が上レール先端に引っかかっていることを確認してください。

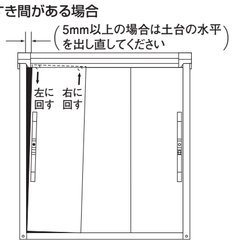


扉が物置本体に対し垂直になるよう、室内側から戸車の**ネジ**で調整します。

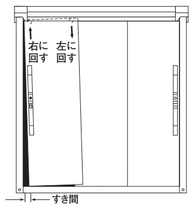


注意
建付調整で直らない場合は基礎の水平、本体の垂直を直してください。

ⓐ上にすき間がある場合



ⓑ下にすき間がある場合

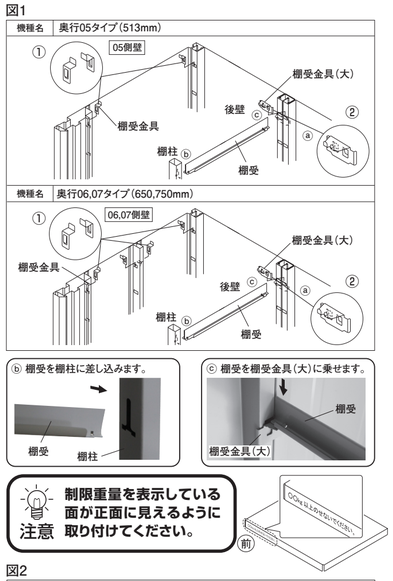


※錠が確実に締まることを確認してください。

10 棚板の取り付け

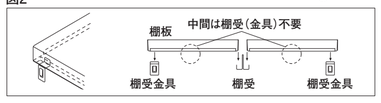
①棚を設置したい高さに図1のとおり棚受金具を戸当たり・後壁の角孔に差し込みます。
②ⓐ. 棚柱の後側の後壁の角孔に棚受金具（大）を差し込みます。
ⓑ. 棚受を棚柱に差し込みます。
ⓒ. 棚受を棚受金具（大）に乗せます。
③図2のとおり棚板を棚受や棚受金具にはめ込みます。

図1



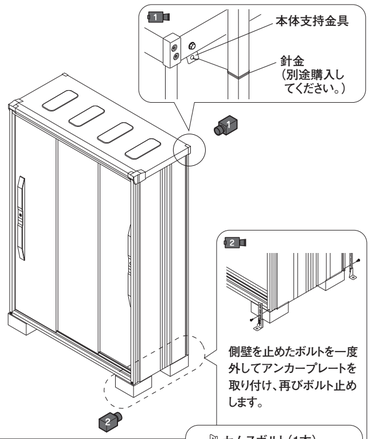
制限重量を表示している面が正面に見えるように取り付けてください。

図2



11 組立完成図

①転倒防止のため、必ず**本体支持金具**に**針金**（針金は別途ご購入ください。）を通し、母屋などに固定するか、アンカープレートを前後4ヵ所に取り付け、コンクリートを打込みます。
②最後に各部の直角を確認して**ボルト**をもう一度しっかり締め直してお使いください。



基礎コンクリート寸法表

全機種共通	
基礎コンクリートの大きさ(cm)および重量(質量)kg（1ヵ所あたり）	35×35×35（約94kg）

タテ、ヨコ、深さ各35cmの穴を掘り、コンクリートを打ち込んでください。

※強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情にあわせて設計・施工してください。

（以上で本体は完成です）

錠の操作方法

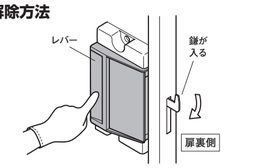
◎錠（メインロック）の操作方法
鍵を反時計回りに回すと施錠されます。鍵を時計回りに回すと解錠されます。使用しないときは、必ず施錠してください。

注意 **鍵で施錠するときは庫内に人がいないことを十分に確認してください。**

◎仮ロックの操作方法
- 「OPEN」を押すと仮ロックが解除されます。
- 「CLOSE」を押すと仮ロックがかかります。

※鍵で施解錠すると仮ロックの状態に関係なく施解錠されます。

◎庫内からの仮ロック解除方法
扉裏側のレバーを押すと仮ロックが解除されます。
※鍵で施錠された場合も解除されます。
庫内よりロック解除を行った場合は鍵を使用して施解錠操作を行って錠が機能していることを確認してください。



お客様へ
組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

施工業者の方へ
取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

（ESF-1005G他）
ヨドコウ